

朝

万両の赤い実が鮮やかに、鈴なりになっている
昨夜の雨は木々の梢に透明な滴を実らせた

漆塗りの椀に盛られた大根、里芋、油揚げ
真っ白なご飯に乗せられた昆布の佃煮

本日は何の予定もなく
だから蒲団を干すことにした

薄い灰色をした影が固定されている
風は木々の間ではなく、その影の間を吹いている

泡の中から生まれた微生物が
くるりくるりと大気の中を泳ぐ

ためらいがちに鍵盤に乗せた指が奏でる一音が
静止した冬枯れの風景を薄膜のように包む

旋律というものは邪魔なだけであって
私自身もまた、質量のない点であればいい

本日は快晴なり
気温10度

(2009.12.6)